

道教關係著書論文目錄

2020（令和2）年

森 由利亞 編

前 言

1. 本目錄には、2020年1月から12月までの期間に我國で刊行された、道教及びその周邊領域に關する著書・論文・書評等を收める。
2. 雑誌等に掲載された譯注類は「II. 論文」に、學會報告等については「III. 書評等」に、それぞれ收める。
3. 掲載順は執筆者姓の第一字の日本語漢字音順とする。執筆者名がアルファベット表記の場合は、I・II・IIIそれぞれにおいて漢字假名表記による執筆者を載せた後にアルファベット順に記す。複数名による執筆の場合は、第一執筆者に準據する。中國人名・韓國人名の場合も日本語音に統一する。
4. 連名による〔譯注〕等の場合は、第一執筆者の姓名の後にのみ〔譯注〕等と記す。
5. 本誌の過年號「目錄」で掲載されたことのある執筆者の場合は、對象領域が些か外れていても敢えて掲載する場合がある。
6. 十分な注意の下に作業を進めたつもりではあるが、誤脱も少なくないと思われる。お氣づきの點をご教示頂ければ幸いである。

I. 單行本

有澤 晶子	見立の文化表象：中國・日本一比較の觀點 研文出版
伊藤 聰	神道の中世：伊勢神宮・吉田神道・中世日本紀 中央公論社
乾 源俊	生成する李白像 研文出版
王 媛	『教訓抄』に語られる中國音樂說話の研究 三元社
大木 康	明清江南社會文化史研究 汲古書院
神塚 淑子	道教思想10講 岩波書店
姜 生	漢帝國の遺産：道教の勃興 東方書店
三浦 國雄〔監譯〕	
田 訪	
金 文京	中國の歴史 4 三國志の世界 後漢 三國時代 講談社

- 串田 久治[編] 天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア 東方書店
- 氣賀澤保規[編] 濱田徳海舊藏敦煌文書コレクション目録 東洋文庫
- 氣賀澤保規 中國の歴史6：絢爛たる世界帝國：隋唐時代 講談社
- 氣賀澤保規[編] 隋唐洛陽と東アジア：洛陽學の新地平 法藏館
- 小山 聰子 前近代日本の病氣治療と呪術 思文閣出版
- 齋藤 茂[譯注] 『夷堅志』譯注 丙志上 汲古書院
- 田淵 欣也
- 福田知可志
- 安田 眞穂
- 山口 博子
- 趙 益
- 王 楚
- 青山優太郎[譯]
- 劉 偉[監譯]
- 陳 捷[編] よくわかる中國道教文化 グローバル科學文化出版
- 二階堂善弘 醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界 勉誠出版
- 細井 浩志[編] 東南アジアの華人廟と文化交渉 關西大學出版部
- 堀池 信夫 新陰陽道叢書 第1卷・古代 名著出版
- 松田 稔 漢代思想論：櫻邑文稿2 明治書院
- 湯淺 邦弘[編著] 『山海經』の文獻的研究 東方書店
- 湯淺 邦弘 中國思想基本用語集 ミネルヴァ書房
- 吉川 忠夫 人生に效く『榮根譚』 KADOKAWA
- 吉川 忠夫 六朝隋唐文史哲論集Ⅰ：人・家・學術 法藏館
- 吉元 昭治 六朝隋唐文史哲論集Ⅱ：宗教の諸相 法藏館
- 吉元 昭治 道教と醫學論文集 第一卷 たにぐち書店
- 吉元 昭治 道教と醫學論文集 第二卷 たにぐち書店
- 吉元 昭治 道教と醫學論文集 第三卷 たにぐち書店
- 吉元 昭治 不老長壽への旅：ニッポン神仙傳 たにぐち書店
- [2019年補遺]
- 今井宇三郎 易經 明治書院
- 辛 賢[編]
- 菊地 章太 位牌の成立一儒教儀禮から佛教民俗へ 東洋大學出版會
- 倉本 一宏 説話研究を拓く：説話文學と歴史史料の間に 思文閣出版
- 小南 一郎 金文：中國古代の文字 泉屋博古館
- 清水 洋子 『夢占逸旨』の研究：中國の「夢」の思想 汲古書院
- 武田 時昌 天と地の科學：東と西の出会い 京都大學人文科學研究所
- 麥 文彪[編]

- 陳 翀 日宋漢籍交流史の諸相：文選と史記、そして白氏文集 大樟樹出版社
- 廣田 律子 神奈川大學共同研究獎勵助成金「ヤオ族の儀禮における文獻と讀誦歌唱法の總合的研究」成果報告書 中國本 ヤオ族文化研究所
- 廣田 律子 神奈川大學共同研究獎勵助成金「ヤオ族の儀禮における文獻と讀誦歌唱法の總合的研究」成果報告書 タイ本 ヤオ族文化研究所
- 廣田 律子 神奈川大學共同研究獎勵助成金「ヤオ族の儀禮における文獻と讀誦歌唱法の總合的研究」成果報告書 ベトナム本 ヤオ族文化研究所
- 山里 純一 沖繩のまじない ボーダーインク
- 吉川 忠夫 顏眞卿傳：時事はただ天のみぞ知る 法藏館

II. 論文

- 相田 満 「生き物供養」と「何でも供養」の日中臺：その共通性と差異の特徴をめぐって 『東洋研究』 218
- 青野 正明 植民地支配は天變地異に代わるものだったのか 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 青山 亨 地震は神の徴か 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 赤井 益久 唐代傳奇小説における變虎譚の諸相：中島敦「山月記」に及ぶ 『國學院雜誌』 121(7)
- 赤澤 春彦 日本中世における病・物氣と陰陽道 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 浅野 春二 全形儀と祭藥王儀：亡魂の「疾患」「傷損」を治療する儀禮をめぐって 『儀禮文化學會紀要：儀禮文化』 7-8
- 浅野 裕一 清華簡『治政之道 治邦之道』の墨家思想 『集刊東洋學』 123
- 天田 顯徳 祭禮の中止、妖怪の流行：「疫病除け」を手掛かりに 『アジア遊學』 253
- 荒見 泰史 信仰における圖像と繼承：敦煌に見られる山と天界の圖像を中心として、尊像の造形と傳承 『アジア遊學』 251
- 有馬 卓也 化の思想 『日本中國學會報』 72

- 猪飼 祥夫 熱いお灸医療のはじまり：中國古代の出土資料から(日本醫史學會關西支部二〇一九年秋季學術集會抄録) 『醫譚』111
- 伊藤 涼 王弼における「物」と「道」：『老子』に對する注釋態度に觸れて 『東洋の思想と宗教』37
- 井上 智勝 烈女・厲鬼・御靈：東アジアにおける自殺者・横死者の慰靈と祭祀 『アジア遊學』245
- 井上 了 『穆天子傳』の後代性について 『中國研究集刊』66
- 石井 公成 華嚴宗はいかにして成立したか：『莊子』の影響を中心として 『駒澤大學禪研究所年報』(特別號)2020.12
- 石川 重雄 浙江省南部歴史調査報告(麗水・温州篇)：宋代古墓を中心として 『東京大學經濟學部資料室年報』10
- 一色 哲 《琉球-沖繩》における海上からの「來訪者」と天變地異の「記憶」『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 稻畑耕一郎 『世説新語』の時代にみる「早慧」と「天真」：「禮教」と「自然」との相剋の中で 『中國文學研究』46
- 薄井 俊二 中國の山と宗教見聞記(その9)徐霞客の足跡を訪ねる：雲南大理周邊・麗江周邊 『埼玉大學國語教育論叢』23
- 今井 友子 『百詠和歌』二百十六番歌：王子喬の「簫」の笛について 『佛教大學大學院紀要文學研究科篇』48
- 浦山 きか 『福田方』『悲田方』の構成と復元の可能性 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版
- 江波戸 互 『悟真篇注疏』翁葆光注成書考：新出の薛道光自序に基づく、戴起宗說の再検討 『朱子學とその展開：土田健次郎教授退職記念論集』 汲古書院
- 緒方 賢一 留園試論：檔案に基づく中國庭園經營の實態 『日本文藝研究』72(1)
- 大形 徹 富岡鐵齋と洞天福地 『洞天福地研究』10
- 大形 徹 國號「日本」の「本」はどのような意味か 『漢字學研究』8
- 大西 和彦 ベトナム東北部ドンチュウ地域の福地《抱腹巖》とその周邊 『洞天福地研究』10
- 大野 修作 王羲之『黃庭經』を読む 『書法漢學研究』27
- 大塚 直樹 模する技術の社會空間：臺北の道觀・祠廟にみる實踐 『框：國際關係フォトジャーナル』7
- 大橋 由治 『廣異記』の運命觀 『大東文化大學漢學會誌』59

- 大橋由紀夫 日本曆法史への招待 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 夏 雨 明清小説所見羅祖に關する傳説及び傳播：『聊齋志異』を例として 研究東洋：東日本國際大學東洋思想研究所・儒學文化研究所紀要(10)
- 葛 兆光 橘と枳の相違(上)：東アジア道教の概念、方法と立場についての再考 『洞天福地研究』10
- 門田 誠一 考古資料と陰陽道 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 梶島 雅弘[鰺刻] 五井蘭洲『蘭洲先生老子經講義』鰺刻(3) 『懷德堂研究』11
- 川野 明正 漢語における「妖怪」概念：日・中・臺の概念比較 『明治大學教養論集』547
- 木下 正史 古代日本の漏刻と時刻制 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 木村 剛大 楚辭「離騷」に於ける變易 『國學院雜誌』121(10)
- 木村 剛大 楚辭「離騷」の「美」について 『國學院中國學會報』66
- 菊地 章太 世變經成立年代考補遺 『東洋學研究』577
- 菊地 章太 中世・近世における道教信仰の傳播 『日本宗教史=History of Japanese Religions』4、吉川弘文館
- 菊池孝太郎 中國古代の楚地における鬼神觀の考察：上博楚簡『鬼神之明』『凡物流形』を手がかりにして 『中國研究集刊』66
- 串田 久治 失政が天變地異を招く 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 串田 久治 天變地異はどう語られてきたか？ 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 深見 純生
- 青野 正明
- 倉本 尚德 北朝造像銘：その起源と展開 『歴史と地理』732
- 邢 東風 「大地震動」は吉祥 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 胡 穎芝 漱石漢詩と神仙世界 『お茶の水女子大學中國文學會報』39
- 古勝 隆一 衰世の菩薩戒弟子皇帝：南朝陳における王權と佛教 『東方學報』95
- 小南 一郎 祖靈と穀靈：中國墓葬中の倉庫模型を中心にして(上) 『泉屋博古館紀要』36
- 小武海櫻子 表象としての近代中國の民衆宗教：宣教師からみた“救世團體” 『學習院大學文學部研究年報』67

- 小武海櫻子 近代中國民衆宗教の書籍ネットワーク考：重慶合川會善堂慈善會刊本目録 『人文』 19
- 小山 聰子 平安時代におけるモノノケの表象と治病 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 伍 嘉誠 香港におけるコロナと宗教 『アジア遊學』 253
- 近藤 瑞木 神職者たちの憑靈譚 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 佐々 充昭 朝鮮における天變地異と豫言 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 佐々木 聰 清末以降の發病占の變容とその社會史的意義 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 佐々木 聰 ベトナム阮朝における天文五行占の受容と禁書政策 『アジア遊學』 244
- 佐藤 大志〔譯注〕 譯注『宋書』樂志二譯注稿(2) 『未名』 38
 佐竹 保子
 釜谷 武志
 柳川 順子
 林 香奈
 狩野 雄
- 佐藤 厚 韓國における『天地八陽神呪經』の靈的機能 『東洋學研究』 57
- 佐野 愛子 『越旬(でん)幽靈集録』における神との交流 『アジア遊學』 244
- 佐野 誠子 郭璞『易洞林』と干寶『搜神記』：東晉はじめ、怪異記述のゆくえ 『アジア遊學』 244
- 齋藤 英喜 病氣治療と神話・祈禱 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 酒井 規史 南宋時代における道教の神への加封：廬山と茅山の事例を中心に 『中國研究』 13
- 志野 好伸 佛教・道教・儒教 伊藤邦武，山内志朗，中島隆博，納富信留 『世界哲學史 3』 筑摩書房
- 清水 浩子 味と香 『アジア遊學』 244
- 清水 浩子〔譯注〕 京都大學人文科學研究所所藏『天地瑞祥志』第十九繙刻・校注(1) 『名古屋大學中國語學文學論集』 33
- 清水 信子 近世後期における地方知識層の書物交流 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版

- 繁田 信一 法師陰陽師と平安時代中期の民間呪術的職能者たち 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 鈴木 裕美 六朝道教における三皇の受容：「九皇圖」を中心に 『中日文化研究』 8
- 鈴木 一馨 沖繩の集落と石敢當・村獅子・梵字石 『駒澤大學文化』 38
- 鈴木 正崇 疫病と民間信仰：祭禮・アマビエ・鼠塚 『アジア遊學』 253
- 隅田 眞徳 『素問』脈要精微論の王冰新校正注にみる尺膚診 『鍼灸學術研究誌』 44
- 臧 魯寧 『抱朴子』外篇の形神觀念：人物鑑識論との關わりを中心に 『中國思想史研究』 41
- 孫 瑾 病と巫：「鬼交」を中心に 『東洋古典學研究』 49
- 孫 瑾 宋の民俗文化：『夷堅志』の「鬼交」を中心に 『東洋古典學研究』 50
- 田中 文雄 儀禮における「檣」と「シキミ」：香木から聖木へ 『儀禮文化學會紀要：儀禮文化』 7-8
- 田中 文雄 孟蘭盆の信仰と習俗 『豐山學報』 63
- 田中 智幸 清代志怪小説の形成について 『鶴見大學紀要・第1部・日本語・日本文學編』 57
- 田中 良明 中國古代における天文思想 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 田中 良明 前漢經學者の天文占知識 『アジア遊學』 249
- 高田 義人 陰陽道の組織と秩序 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 高戸 聰 「運命の盗み聞き」説話：六朝志怪「陳仲舉」から「産神問答」に至る説話の變遷について 『福岡女學院大學紀要・人文學部編』 30
- 高野 淳一 王弼、郭象における「愛」 『岩手縣立大學盛岡短期大學部研究論集』 22
- 高橋 陸美 唐代における『老子』注釋の狀況と玄宗御注・御疏 『大東文化大學漢學會誌』 59
- 高橋あやの 『觀象玩占』にみる東アジアの術數文化 『アジア遊學』 244
- 詫間 直樹 陰陽道の方違えについて 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 武田 時昌 人日と臘日：年中行事の術數學的考察 『アジア遊學』 244
- 武田 時昌 “形神合一”と二つのエネルギー產生系のバランス：鍼灸美容學における「美容」と「健康」 『關西醫療大學紀要』 14

- 竹迫 忍 符天曆法の復元 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 張 麗山 東アジアの視点から見る日本陰陽道の病氣対策 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 陳 捷 經學註釋と博物學の間 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版
- 陳 捷 乾隆・嘉慶期における叢書の編纂と出版についての考察『アジア遊學』249
- 辻 高廣 天變地異は天子の責任か？ 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 土屋 昌明 玄宗の道教における日本への傳教の契機と新羅 『洞天福地研究』10
- 土屋 昌明 女性道士焦眞靜の巡禮 『東方宗教』132
- 土屋 昌明 洞天思想と謝靈運 『アジア遊學』240
- 手島 一眞 中國における末法思想隆替の一齣：新發現窄洞谷太平寺摩崖刻經『金棺經』の研究 『法華文化研究』46
- 手島 一眞 中國における末法思想隆替の一齣：新發現『金棺經』所刻石窟における刻記の釋讀研究 『立正大學大學院紀要』36
- 鄭 淳一 「新羅海賊」と神・佛への祈り 『アジア遊學』244
- 鄭 星瑤 現代中國人の宗教意識・宗教的實踐：福建省莆田市における聞き取り調査およびアンケート調査から 『京都文教文化人類學研究』13
- 戸川 貴行 華北における中國雅樂の成立：五～六世紀を中心に 『史學雜誌』129(3)
- 徳田 武 平田篤胤と中國小説：『聊齋志異』『夷堅志』『東遊記』『江戸風雅』22
- 宮岡眞央子 臺灣山地先住民の村における新型コロナウイルス感染症のインパクト 『アジア遊學』253
- 名和 敏光 堪輿占考 『アジア遊學』244
- 中島和歌子 古代陰陽道の占いと物忌 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 中島 隆博 神に先立つ道：鈴木大拙と『老子』 『現代思想』48(15)
- 中島 隆博 對談 ログスと道：世界哲學のために 『思想』1154
- 中島 隆博 中國の諸子百家における世界と魂 伊藤邦武，山内志朗，中島隆博，納富信留責任編集『世界哲學史1』 筑摩書房

- 中西 久味 大慧禪における悟境についての一試論：「寂滅現前」を手がかりとして(前) 『中國思想史研究』 41
- 中林 史朗[譯注] 『陔餘叢考』 訓譯卷十五之上 『大東文化大學漢學雜誌』 59
石井 靖朗
大兼 健寛
栗栖亞矢子
佐藤 良
田中 良明
米田 颯介
- 中村 晃子 陰陽頭と「陰陽師第一者」 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 中山ひかり 先秦時代における「ウタ」の類型：『左傳』と「楚辭」を例として 『國學院中國學會報』 66
- 永富 青地 王畿『中鑑錄』に關する一考察 『陽明學』 30
- 二階堂善弘 華人の亡魂救済について：シンガポールの中元行事を中心に 『アジア遊學』 245
- 二階堂善弘 中國における道教の成立と民間信仰の日本への影響 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議會『古代東アジアにおける地域間交流と信仰・祭祀報告書』
- 二階堂善弘 『神仙通鑑』と『封神演義』の關係について 『東アジア文化交渉研究』 13
- 範 駿 覺鏝『五輪九字明祕密釋』における「五臟神形圖」の考察 『印度學佛教學研究』 69(1)
- 日比野晉也 尹志平期における佛教と内丹説の受容について 『文化交渉：東アジア文化研究科院生論集』 10
- 廣瀬 直記[譯注] 「茅君内傳」譯注研究(二) 『洞天福地研究』 10
ファム レ・ファイ ベトナムにおける祥瑞文化の傳播と展開：李朝(一〇〇九～一二二五)の靈獸世界を中心にして 『アジア遊學』 244
- 馮 渝傑
三浦 國雄[譯] 人・劍關係の變遷から見た道教の身體理解 『東方宗教』 132
- 深澤 瞳 平安時代における後産と醫術/呪術 『アジア遊學』 244
- 深見 純生 沸騰する南海北山 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
- 藤田 衛 『易緯通卦驗』の二十四節氣・七十二候 『東洋古典學研究』 49
- 藤田 衛 漢代易學興亡史稿(上) 『東洋古典學研究』 50
- 藤原 崇人 契丹人貴族階層における追薦 『アジア遊學』 245

朴 現主 黃 昱[譯]	東アジア傳統醫學の眞髓 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版
細井 浩志	「日本」の誕生と疫病の發生 『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・朝鮮・東南アジア』 東方書店
細井 浩志	陰陽道の世界觀と時間 『日本曆學會』 27
細井 浩志	總論古代陰陽道研究の成果と課題 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1卷・古代』 名著出版
細井 浩志	「陰陽道」概念と陰陽道の成立について 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1卷・古代』 名著出版
細井 浩志	天文異變と史書の生成 山下久夫、齋藤英喜 編『日本書紀1300年史を問う』 思文閣出版
細井 浩志	奈良・平安時代における星辰・曆神信仰の展開と佛教との關係の一側面 木本好信編『古代史論聚』 岩田書院
堀 誠 眞柳 誠	「狐變姐己」隨記 『學術研究(人文科學・社會科學編)』 69 日中韓越の醫書流通と醫學體系の形成 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版
牧角 悦子	中國古代の祭禮形成 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
町泉 壽郎	江戸時代醫學史からみた病氣治療と運氣論 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
松浦 史子	獸頭の吉鳳「吉利・富貴」について：日中韓の祥瑞情報を手がかりに 『アジア遊學』 244
松尾 恒一	清代前期、媽祖信仰・祭祀の日本傳播とその傳承：ヨーロッパの東アジア進出も視野に入れて 『アジア遊學』 251
松尾 恒一	明代、南シナ海の高盜の活動と記憶：日本・中國大陸・東南アジアの宗教史跡をめぐって 『アジア遊學』 251
松本 浩一 丸山 宏	宋元時代の鍊度と祭鍊 『社會文化史學』 63 臺南道教科儀形成史初探：臺南と浙江磐安の朝科科文の比較を中心に 『東方宗教』 132
三浦 國雄	道教の死體觀 『アジア遊學』 245
三浦 秀一	老を雜へて佛老を超ゆ：明代思想史の一斷面(上) 『東洋古典學研究』 50
三浦 秀一 三浦 雄城	萬曆の王學者鄒元標の前半生とその思想 『集刊東洋學』 122 後漢光武帝と儒教的識緯：莽新末後漢初の政治情勢から 『東洋學報』 101(4)
三浦 雄城	後漢官學における識緯と章句 『中國：社會と文化』 35

- 三尾 裕子 疫病と臺灣の民間信仰 『アジア遊學』 253
- 水口 幹記 『日本靈異記』 所載の目盲説話をめぐって 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 水口 幹記 古代東アジアの術數書について 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 水口 幹記 <術數文化> という用語の可能性について 『アジア遊學』 244
- 水越 知 清代後期の婦女「誘拐」について：『巴縣檔案(同治朝)』を中心に 『關西學院史學』 47
- 溝部 良恵 戴孚『廣異記』 七則 『中國研究』 13
- 南澤 良彦 明堂に見る傳統と革新：南北朝における漢學 『アジア遊學』 249
- 宮崎 眞由 陰陽道祭祀について 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 宮岸 雄介 『史通』 中の『論衡』：中國史學の「識」の系譜 『防衛醫科大學校進學課程研究紀要』 43
- 宮島 一彦 日本古代の天文知識 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 宮本 紗代 『神仙傳』の神仙・神人・真人・仙人 『學林』 71
- 六車 楓 敦煌醫書『明堂五藏論』 釋讀補訂 『中國研究集刊』 66
- 森 和也 平田篤胤は《道教》を研究したのか 『洞天福地研究』 10
- 屋敷 信晴 中國古典小説にみる幽霊と冥界 荻野藏平・トビマス・パウアー編『生と死をめぐるディスコース』
- 矢田 尚子 楚辭「九懷」の遊行表現について 『集刊東洋學』 123
- 山口 えり 日本古代の陰陽道と神祇信仰・佛教 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 山下 一夫 第一大洞天と四大懷藥 『洞天福地研究』 10
- 山下 一夫 映畫 陳錫煌と臺灣の布袋戲の「傳統」：『臺灣、街かどの人形劇』によせて 『三田文學』 99(140)
- 山下 一夫 中國の影繪人形劇の「傳統」と「近代」 『アジア遊學』 232
- 山下 克明 式神の實態と説話をめぐって 細井浩志編『新陰陽道叢書 第1巻・古代』 名著出版
- 山下 克明 日本古代の呪符文化 『アジア遊學』 244
- 山下 克明 陰陽道の成立 佐藤信監修・新古代史の會編『テーマで學ぶ日本古代史 社會史料編』 吉川弘文館

- 山田 雄司 忍術書に見る病氣治療 小山聰子編『前近代日本の病氣治療と呪術』 思文閣出版
- 山田 俊 趙秉文『道德真經集解』再考 『集刊東洋學』122
- 山本 恭子 沖縄縣座間味島の年中行事 ハマウリ 『園田學園女子大學論文集』54
- 熊 奕湊 『管子』心術下・内業篇再考：兩篇の「祖本」における「心」の思想を中心に 『東洋古典學研究』50
- 楊 力州 映畫 楊力州監督の臺灣ドキュメンタリー映畫：『臺灣、街かどの人形劇』によせて 『三田文學』99(140)
- 山下 一夫
吉川 龍生
- 横山 裕 『淮南子』の法思想：君主權の制約をめぐる 『東洋古典學研究』49
- 吉田 忠 『新製靈臺儀象志』の受容 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版
- 吉野 晃 <廟>における女性シャマンの組織と儀禮の變化：タイ北部、ミエン(ヤオ)社會における新たな宗教現象に関する中間報告 『年報タイ研究』20
- 雷 聞 唐代洛陽大聖真觀考 氣賀澤保規編『隋唐洛陽と東アジア：洛陽學の新地平』 法藏館
- 李 賢京 感染症のパンデミックと分斷の可視化：コロナテスト中の韓國社會と宗教を問う 『アジア遊學』253
- 梁 嶸
黃 昱[譯] 日本における中國舌診書『敖氏傷寒金鏡錄』の受容 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版
- 梁 永宣
李 敏
小野 泰教[譯] 國立公文書館所藏の朝鮮通信使の醫學筆談 陳捷編『醫學・科學・博物：東アジア古典籍の世界』 勉誠出版
- 渡邊 義浩 『文心雕龍』の史學論 『六朝學術學會報』21
- 渡邊 義浩 『隋書』經籍志の史學論 『東洋研究』217
- [2019年補遺]
- 有馬 卓也 『淮南萬畢術』拾遺(7) 『東洋古典學研究』48
- 池内早紀子 里耶秦簡の醫方で用いられる藥物の一考察：茵桂を中心として 『人文學論集』38
- 山本優紀子
大形 徹
- 井上 進 『萬曆野獲編』の版本問題 『名古屋大學東洋史研究報告』43
- 王 俊鈞 繪畫修養論：「氣韻生知」から「氣韻學知」へ 『中國思想研究』40

- 王 財源 東洋醫學における形神観について：こころと身體 『人文學論集』 38
- 木村 重圭 名畫探錄(17) 佐竹永海筆「飲中八仙圖屏風」：もう一人の永海(谷文晁の高弟) 『聚美』 32
- 大森 信徳 白玉蟾「畫中衆仙歌」小考：南宋畫論との比較を中心として 『人文論集』 58
- 小倉 聖 帛書『刑徳』乙篇の刑徳小遊 武田時昌, 麥文彪編『天と地の科學：東と西の出会い』 京都大學人文科學研究所
- 嘉瀬 達男 楊雄の術數學と『太玄』 『立命館文學』 664
- 久保 輝幸 『金匱錄』の書誌と佚文 『人文學論集』 38
- 黃 昱 『夷堅志』における動物說話の特徴をめぐって 『説話』 13
- 高 陽 南方熊楠と宋代の『夷堅志』：熊楠の書き込みを中心に 『説話文學研究』 54
- 小南 一郎 秦の祀天儀禮(下) 『泉屋博古館紀要』 35
- 佐竹 保子 恒に俄頃の用に充つ、豈に古今の爲めに然らんや：信仰告白としての「華子崗に入る 是れ麻源の第三谷なり」詩 『集刊東洋學』 121
- 清水 浩子 須彌山說受容と須彌山儀 武田時昌, 麥文彪編『天と地の科學：東と西の出会い』 京都大學人文科學研究所
- 鈴木 達明 「莊騷」の誕生：韓愈における文學としての『莊子』の受容 『東洋史研究』 78(1)
- 高津 孝[譯注] 『續夷堅志』譯稿(2) 『人文學科論集：鹿兒島大學法文學部紀要』 86
- 高橋あやの 『靈臺祕苑』のテキストについて 武田時昌, 麥文彪編『天と地の科學：東と西の出会い』 京都大學人文科學研究所
- 武田 時昌 先秦の惑星觀 武田時昌, 麥文彪編『天と地の科學：東と西の出会い』 京都大學人文科學研究所
- 張 琪 土地への依存と來世現世間の秩序：白褲やオ「牛祭」儀式的文化的意義 『中國21』 49
- 松岡 正子[譯] 遺骸思葬：『夷堅志』における埋骨の物語 『東洋史研究』 78(2)
- 鄭 淦 地方劇における『封神演義』および聞仲像の展開 『日本中國學會報』 71
- 中塚 亮 『馬師皇五臟論』譯注 『人文學論集』 38
- 中吉 隆之[譯注] 『周易略例』明卦適變通爻の分析(1) 『龍谷紀要』 40(2)
- 西川 靖二 『周易略例』明卦適變通爻の分析(2) 『龍谷紀要』 41(1)

- 白 雲飛 『春秋左氏傳』における魂魄二元的な見方の萌芽 武田時昌, 麥文彪編『天と地の科學：東と西の出会い』 京都大學人文科學研究所
- 橋本 敬造 『淮南子』天文訓 武田時昌, 麥文彪編『天と地の科學：東と西の出会い』 京都大學人文科學研究所
- 片 茂永 中國の何仙姑と蓮華 『比較民俗學會報』40(2)
- 山田 俊 寇才質『道德真經四子古道集解』初探 『熊本縣立大學文學部紀要』25(78)
- 山本 眞 福建省興化地域社會と結社、キリスト教、阿片：民國初期の黃濂の亂に着目して 『東洋史研究』78(1)
- 楊 冰 詩の「無我の境」：陶淵明の「飲酒五」と元好問の「穎亭留別」 『人文學論集』38
- 吉野 晃 タイにおけるミエンの歌謠テキストと歌謠語 『アジア遊學』231
- 李 强 古代における中國正骨術と日本正骨術の淵源關係 『人文學論集』38
- 渡邊 精一 『夷堅志』のシラミと『古今著聞集』のシラミ 倉本一宏編『説話研究を拓く：説話文學と歴史史料の間に』 思文閣出版
- 渡邊 義浩 災異から革命へ：睦弘の上奏を中心として 『東洋の思想と宗教』36
- III. 書評等
- 井上 進 批評と紹介 『萬曆野獲編』校記(1) 『名古屋大學東洋史研究報告』44
- 江川 式部 吉川忠夫著『顏真卿傳：時事はただ天のみぞ知る』 『唐代史研究』23
- 岡本 健 三人閑談「ゾンビ」がやってきた! 『三田評論』1242
- 宿輪 純一
山下 一夫
- 佐川 英治 書評 魏斌著『“山中”的六朝史』(生活・讀書・新知三聯書店、二〇一九年) 『中國：社會と文化』35
- 田中 文雄 岸田知子著『空海の文字とことば』 『東方宗教』132
- 田島 花野 矢田尚子著『楚辭「離騷」を読む：悲劇の忠臣・屈原の人物像をめぐる』 『集刊東洋學』123
- 高橋 晉一 伊藤泉美著『横濱華僑社會の形成と發展：幕末開港期から關東大震災復興期まで』 『日本歴史』854

- 土屋 昌明 シペール先生追悼 『洞天福地研究』 10
- 中島 慧[博論要旨] 日本における「忍者」のイメージ形成と定着：神仙道教要素
のフィクションにおける受容と展開 『言語と文明』 18
- 二階堂善弘 小川陽一著『明清のおみくじと社会：關帝靈籤の全譯』 『東
方宗教』 132
- 山下 克明 東アジア怪異學會編『怪異を媒介するもの』 『東方宗教』
132